



久留米市美術館

とき・ひと・美をむすぶ

市美術館のイベントや所蔵作品を紹介します。

麗子像の傑作、九州に初登場

岸田劉生と言えば、愛娘・麗子を描いた一連の「麗子像」を思い浮かべる人も多いのではないのでしょうか。その数ある麗子像の中でも、特に重要な作品と位置付けられているのが、この「麗子坐像」です。幼い麗子が、画室に用意された木箱の上に座って、懸命にモデルを務める姿が描かれています。着物の絞りの凹凸や、幼児らしい手の甲の丸みなどのリアルな表現に加え、足の痛みで涙が出そうになるのを必死にこらえているような、けなげな表情に引きつけられます。この「麗子坐像」は、九州初公開です。ぜひご覧ください。

【学芸員：稲富景子】

市美術館

(☎ 0942・39・1131、FAX 0942・39・3134)



岸田劉生《麗子坐像》1919年、ポーラ美術館蔵



子どもたちと、まちと、文化の明日を元気にする

久留米シティプラザ



シティプラザの主催・提携イベントを紹介します。

小松杏里のくるめ演劇塾 2018 前期 プラ座演劇クラス参加者募集

■日時 練習・6月11日(月)、12日(火)、19日(火)、21日(木)、25日(月)、26日(火)、7月2日(月)、3日(火)、4日(水)、6日(金) 19時～21時、7月1日(日)、7日(土)、8日(日)、10日(火)、11日(水) 14時～20時。発表公演・7月12日(木)、13日(金)、14日(土) 10時～21時
■会場 スタジオ ■対象 中学生以上 ■内容 劇団のように全員でスタッフワークもしながら演劇発表公演に向けて練習 ■定員 15人・選考 ■料金 8,000円、高校・大学生 5,000円、中学生 3,000円 ■申込締切 5月15日(火)

市久留米シティプラザ

(☎ 0942・36・3000、FAX 0942・36・3087)

ミュージカル ゴースト

■日時 9月①15日(土)13時～、②16日(日)12時～
■会場 ギャ・グランドホール ■内容 映画「ゴースト/ニューヨークの幻」のミュージカル。はかなくも確



かな、変わらない愛の形を描く。出演は、浦井健治、①咲妃みゆと、②秋元才加のWキャスト、平間壮一、森公美子ほか ■料金 指定席S席1万2,000円、A席9,000円、B席5,000円 ■先行発売 5月20日(日)10時～19時・シティプラザ窓口・ホームページ ■一般発売 5月26日(土)10時・シティプラザ窓口・ホームページ、各プレイガイドなど。未就学児は入場できません

市ピクニックチケットセンター

(☎ 050・3539・8330、

http://www.picnic-net.com)



そろいの法被姿で踊る参加者(昨年の様子)

me-matsuri.info)

3210、http://kuru

me-matsuri.info)

1717、FAX 0942・31・

務局 (☎ 0942・31・

3210、http://kuru

me-matsuri.info)

5月1日(火)～6月15日(金)

【新規参加希望者説明会】

5月30日(水)13時30分

久留米観光コンベンション国

際交流協会(くるめりあ六

ツ門6階) ■対象 パワース

トリート・そろばん総踊り

に参加したい団体の代表者

申し込み不要

いずれも、申込期間は、

5月1日(火)～6月15日(金)

【祭りボランティア】

8月4日(土) ■対象 高校生

以上 ■内容 祭り当日の案

内など、スタッフTシャツ

を呈呈

【パワーストリート】

8月4日(土)13時～17時

対象 行進チーム、停止演

技チーム

【二万人のそろばん総踊り】

8月4日(土)19時～21時

■対象 企業、団体、家族、

友人などのグループ

【祭りボランティア】

8月4日(土) ■対象 高校生

以上 ■内容 祭り当日の案

内など、スタッフTシャツ

を呈呈

有馬記念館企画展

大名有馬家の武具甲冑

4月28日(土)から8月27日(月)まで

有馬家伝来の刀剣などを展示

久留米藩主・有馬家には、武具や甲冑など、さまざまな大名道具が伝わっています。10代藩主頼永や11代藩主頼咸が使った甲冑や太刀・短刀などの刀剣類を4月28日(土)から有馬記念館で公開します。袴などの刀装具や陣羽織などの他、騎馬行列の様子を描いた絵巻など、関連する絵画資料も合わせて紹介します。

■時間 10時～17時、入館は16時30分まで。火曜は休館 ■会場 有馬記念館 ■料金 200円、高校生以下無料。15人以上団体割引あり

市文化財保護課 (☎ 0942・30・9323、FAX 0942・30・9714)

鉄錆地紺糸威五枚胴具足

有馬頼永が使った甲冑。かぶとの正面の大きなしがみと角が特徴で、胴には漆で加工した鉄錆地や藍染めの糸、靴には熊の毛を使用しています(有馬家所蔵)

太刀 信房

室町時代の備前の刀工信房の作品。反りが強く、長い一筋の溝があります(有馬家所蔵)



▲金梨地唐草に龍胆車紋三つ巴紋時絵太刀拵 さやの部分に、金銀の時絵で有馬家の三つ巴紋と龍胆車紋が描かれています。つばは上下が張った形で、儀礼用の太刀に使われる様式。太刀信房に合わせて作られています(有馬家所蔵)

